

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益社団法人 ON THE ROADs

1. 事業の成果

◆いじめ、不登校、引きこもりに関する個別相談

佐賀県内の児童・生徒24名の個別相談を行った。上半期に法人に対する誹謗中傷があり対応に多大な時間を割いたため、例年子どもたちに配布している相談ハガキの配布が十分行えなかった。ハガキの配布が限定的だったことから、対応人数は前年比で4割程度に激減した。また、ネット等で調べて当会を知った保護者からの問い合わせが相談人数全体の6割程を占めており、子どもから直接の連絡・相談が少なかった。複数回の面談やイベントへの誘い出しなど伴走支援にも時間を割き、児童生徒が所属する学校並びに所轄する教育委員会と連携して復学の伴走支援に務めた。

◆いじめ、不登校、引きこもりに関する防止対策及び啓発活動

「いじめ相談ハガキ」を作成し、教育委員会の協力のもと佐賀県内の一部の小中学校に配布したほか、企業や商店にポスター掲示の依頼を引き続き行い、子どもたちや保護者に相談窓口の存在を広く伝えた。武雄市の御船が丘小学校ではいじめ防止の講演に講師を派遣し、いじめに関する講演を行った。

◆学習支援

令和6年度の期中に担当職員が退職したのち後任の採用はかなわず、令和7年度は学習支援教室を実施しなかった。

◆難病児・きょうだい児支援

春期と秋期に旅行招待の準備を行い、2名の病児が体調不良等で旅行を延期したが、5名の難病児とご家族合計23名を大阪旅行に招待した。

令和7年度は大阪・関西万博が開催されていたため、春期に招待した4名の難病児とご家族は万博にも足を運んだ。なお、本万博の招待は、一般財団法人健やか親子支援協会と近畿日本ツーリストが立ち上げた難病児の万博おでかけプロジェクトの支援を受けて実現した。

旅行を希望するご家族からの問い合わせは途切れることなく続いており、引き続き旅行を希望される難病児とご家族を大阪旅行に招待するため、資金調達を継続してい

る。

また、旅行後のフォローアップ事業として、佐賀県での体験イベントを開催した。通常、不登校のお子さんたちを対象にしていた焼き物の絵付け体験イベントに難病児とご家族も招待し、3組のご家族が参加した。難病児とご家族が日常的に外出しやすい地域社会を作れるよう、本事業を継続・発展的に行うことが重要と認識した。

◆子どもたちの体験学習・イベント等の企画と実施

令和7年度は2回の体験学習・イベントを実施した。伊万里市ではシーバード伊万里・有田の皆さまと共催で海上清掃を実施し、不登校施設のお子さんご家族を中心に一般公募の来場者も加えて事業を実施した。同日の午後は大川内山での焼き物の絵付け体験に50名強の参加者があり、子どもたちが地場産業に触れる機会を提供できた。

また、令和6年度に続き、今年度も、唐津市の離島の地域活性の一環として島の歌作りを行った。本事業では加唐島に定期的に訪問し、加唐島と同島の小学校に通う松島の子どもたちも交えて、加唐島と松島の歌を作るプロジェクトを行った。本事業は佐賀県のさが未来アシスト事業費補助事業として採択され、公益財団法人金子財団の助成も得て実施した。

◆その他の特記事項

令和7年3月1日より、法人名称の変更を行った。

旧名称：公益社団法人 ON THE ROAD

新名称：公益社団法人 ON THE ROADs

2. 法人の組織基盤に関する成果

◆資金基盤の強化

引き続き渉外に努め、事業に必要な資金調達に努めたが、上半期に法人への誹謗中傷がありその対応に追われたことで、資金調達の面では前年度を大幅に下回る結果となった。しかしながら、ふるさと納税の返礼品を提供してくださる生産者・事業者らの協力もあり、次年度に向けて財務の立て直しのめどが立っている状況にある。また、事業の拡大に伴い支出も増加しているため、財源の多様化・安定化に努めることが引き続き課題である。

◆広報基盤の強化

WEBサイトの更新頻度を高めて各事業の情報発信に努めた。SNSを活用した情報発信にも努め、事業を広く知ってもらうよう努めた。動画の活用は引き続き努力課題となっている。

◆組織基盤の強化

公益法人の3期目を迎え、コンプライアンスとガバナンスの強化に努めた。

◆理事会の開催

令和7年5月6日

令和7年6月15日

令和7年9月24日

令和7年11月24日

令和8年2月7日

◆社員総会の開催

令和7年6月15日（定時）

令和8年2月28日（臨時）